

襖 (拡張)

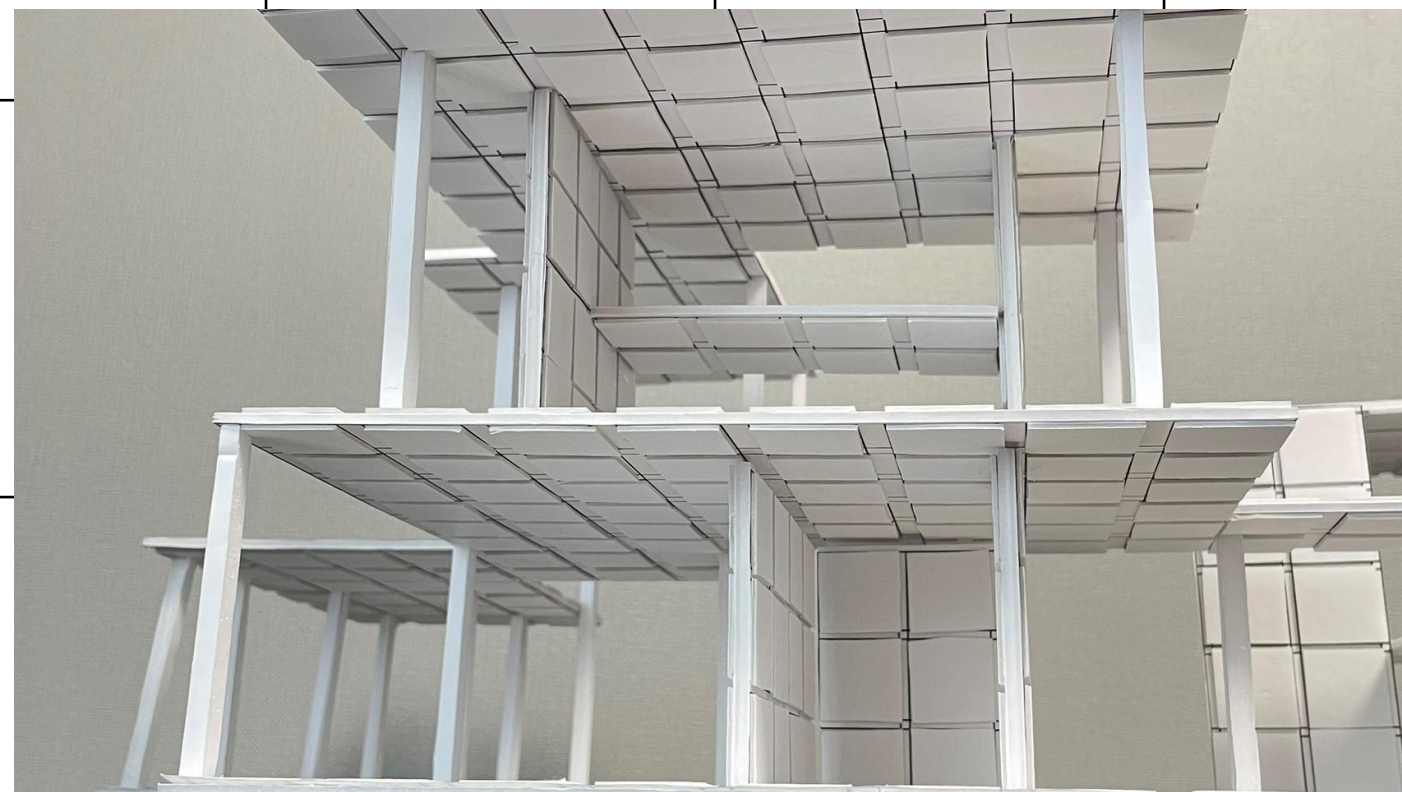
概要

建物・空間を構成する要素は主に床、壁、天井、柱であり、使用者はこれを基準に空間を作り上げる。空間の中で動かすことができるのは家具や照明、壁紙などの雰囲気や見た目に関するものである。

ここで、空間のスケールを動かすことを考えた。目的を持って作られた空間を、移り変わる使用者の全員が気に入るだろうか。使用者のスケールが変わっても、その空間は満足に使われるだろうか。価値観、感情、生活規模は使用者によって異なる。

廃れた大型施設、立ち並ぶ空き家など、かつては使われると期待された空間が、取り壊しの費用を主な理由として放置されている。私はこのほかに、空間や用途の固定力が強いことも原因ではないかと推察した。

そこで、可動・再構築可能な床、壁、天井を取り入れ、多世代にわたって使用されるような空間の再利用を提案する。



詳細

床、天井、壁にスリットを設置する。強度が足りない部分は、柱やトラスを組み込む。襖の用途を拡張した構造で、使用者の望む規模、間取りを組み立てることができる。加えて、増減築や資材の再利用をすることで、サステイナブルな土地関係を築くことができる。

